

# 静岡県静岡市立清水両河内中学校

(様式 4-2 : 平成 30 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度  
実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称：両河内ふるさと学習 ～両河内のためにできること～					
2. テーマ：両河内ふるさと学習 ～両河内のためにできること～					
3. 実施教科：総合 学活 社会科 家庭科					
4. 関連単元：社会科 過疎と過密 地方自治 地域インフラ 家庭科 家庭生活と環境					
5. 実施単元数：36時間 (発表会も含む)					
6. 学年	1 2 3 年	7. クラス数	3	8. 生徒数	3 4
<p>9. 実施内容</p> <p>活動のねらい 地域の交通についての現状を知り、地域住民の必要とする交通とは何かを考え、学習を重ねていく中で、将来の地域と交通の在り方について、考えまとめたものを発表会で発信することで地域の活性化に寄与する</p> <p>時期 6月～12月</p> <p>内容 総合学習のテーマ「両河内のためにできること」を生徒が追求する中で、地域の交通の変遷と現状を知り、今後の在り方について発表会等で地域に発信し、ともに地域活性化に向けての提言を行う。</p> <p>方法 6月から「両河内ふるさと学習」を開始する。週2時間の総合学習の時間を使い、中学生が「両河内のためにできること」を考えていく。 個人での取り組みとなるので、まずは、テーマを考え江、決めていく。テーマ決定に向けて教員がアドバイスを。テーマが決まったら、各自そのテーマに向けて追求手段や表現方法を考える。 その後は自分で計画を立て実践していくが、今年度は、ココバスの運営が始まった年でもあり、講師を用意し話を聞く機会を設けた。具体的には、連合自治会長、自主運営バスの事業者、市役所の公共交通課、ネクスコ中日本に方などに話をお願いした。 その後、12月の発表会に向けて資料を作成した。当日は、生涯学習交流館を借り、中学生が地域に自分の意見を発信する形で発表をしていく。そこで地域の方からの意見や質問も受け、最終的にはレポートとして提出し、冊子にまとめ、地域にも配布する。その後、空き教室を生かし、作成したものを常時見ることができるよう配置する。今年度も、中学生の意見やアイデアについて、多くの賛辞をいただいた。(資料参考)</p>					

注：記載欄に記述しきれない場合は、必要に応じて補足

10. 学習のながれ：

6月 両河内ふるさと学習の始まり  
各自でテーマを設定（夏季休業を利用して資料集め）

9月 テーマ提出 学習開始 毎週火曜日 5. 6時間目

「ココバスについて知ろう！」

講師

両河内地区連合自治会長兼 NPO 法人清流の里両河内 副理事長  
ココバス運行管理者 中山治巳氏

- ・ココバスの成立まで
- ・運営の実態（本数 時間 料金 利用実績など）
- ・今後の動きについて
- ・質疑応答

10月

「中部横断道について」

講師

ネクスコ中日本 工務課課長 生川賀啓氏

- ・中部横断道の現状
- ・両河内地区に与える影響について
- ・質疑応答

「両河内地区の交通インフラ及びココバスの運営について」

講師 静岡市交通政策課 課長補佐 増本猛巳氏

- ・NPO 法人としてのココバスの意義
- ・今後の動向
- ・質疑応答

生徒によるフィールドワーク

- ・ココバス事業所への聞き取り調査
- ・アンケート調査等

11月 個人で発表内容のまとめ  
パワーポイントによるプレゼンテーションの準備  
模造紙や画用紙などを使った掲示物作成

12月 総合学習発表会  
場所 両河内生涯学習交流館 保護者・地域の方を招いての発表  
3グループに分かれての発表  
テーマ（例）  
・地域で創りあげていくココバスの未来  
・両河内をよりよくするために ～ココバス～  
・私の頭上の高速道路

等 資料参照

## 「ふるさと学習発表会」に参加した地域の人の感想（抜粋）

- ・中学生目線で地域のことをこれだけ考えられるということが素晴らしいと感じました。
- ・ココバスの未来はこれからの子にかかっていると思います。大勢の方に愛され乗ってもらえるといいですね。
- ・ココバスは皆で作るという発想はとても良いことだと思う。地域で育てることが大事だと思う。
- ・ココバスの未来について本当に考えてくれる姿勢が良く伝わりました。若い方々のこのような意見が将来を支えることにつながります。
- ・みなさんの発表を聞いていたら、これからの両河内は、大丈夫なんじゃないかと思いました。この子たちに綱が得るまで大人も頑張らないと。

### まとめ

・6月からの学習の成果を12月の学習発表会で地域・保護者に発表した。感想に見られるよう、中学生の取り組みを好意的にとらえ、応援していこうという雰囲気を感じられた。このような発表の機会はずいぶん大切にし、継続させていきたい。

また、研究の成果がいつでも見られるように、補助金を利用し、空き教室を利用した「両河内地ふるさと学習」のコーナーを設置した。普段から先輩たちの取り組みに触れることで、より深く・継続的な取り組みができるよう配慮した。両河内地区の交通環境について学習を進めてきたがいくつかの課題が出てきた。このような課題はすぐに解決する問題ではないが、生徒が地域の交通環境について考え、どのようにしていけばよいのかを考える良い機会となっている。来年度も継続して取り組んでいくようにしたい。

#### <両河内地区の交通環境についての課題>

- ・ココバスは、NPO法人であるため、既存路線とは競合できない。
- ・人員・車両に限りがあるため、生徒が要望する日曜日などの運営は現状ではできないこと。
- ・ココバスの運営は今年度から始まったばかりなので、実績により今後の運営が左右されてしまうこと。
- ・中部横断道の部分開通により、両河内地区を通過する車両は増加するが、両河内地区にスマートETCなどの場所がないため、交通環境の向上には今のところ寄与できていないこと。（スマートETC建設の計画はある）
- ・ココバスの利用を高めるには、利用者を増やすことが大切だが、実際には高校への通学等、自家用車の使用が多いこと。

#### <今後の展望>

- ・両河内ふるさと学習は、来年度以降も継続していくので、ぜひこの地域の交通について考えて行くことは継続していきたい。また、地域の人から多大なお褒めの言葉を頂いたので、提言だけではなく、実現できることは実現していきたい。

総合学習発表会の様子

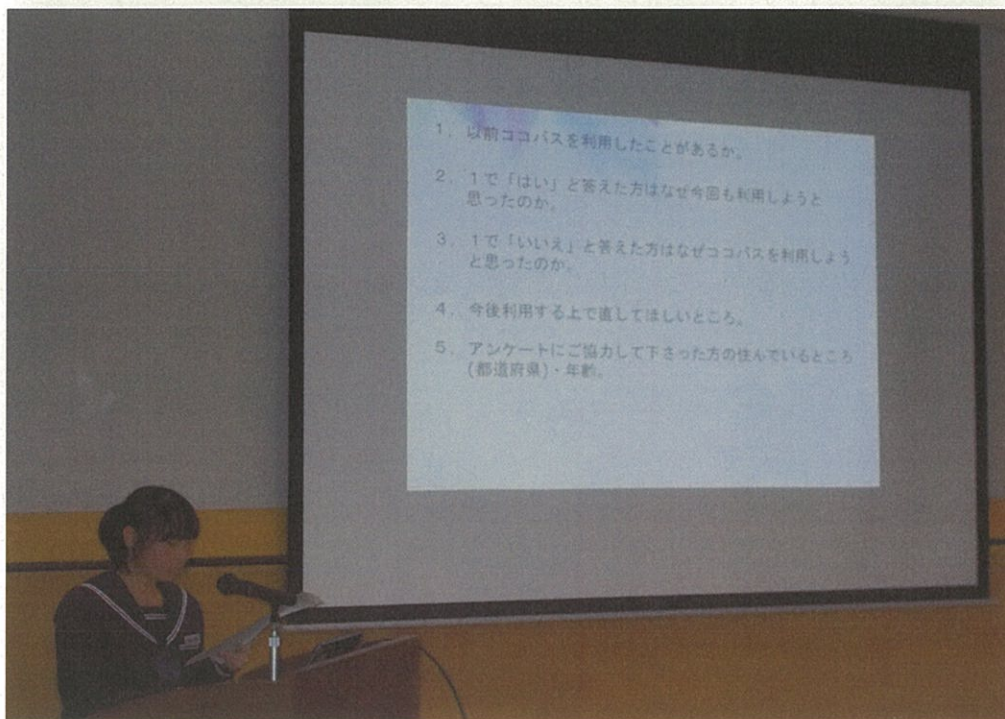
会場



参加した地域の方や保護者



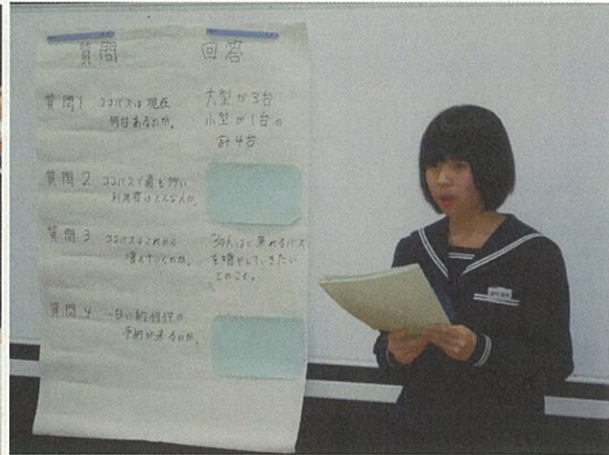
パワーポイントを使って説明する生徒



受付の様子



ココバスについて発表する生徒



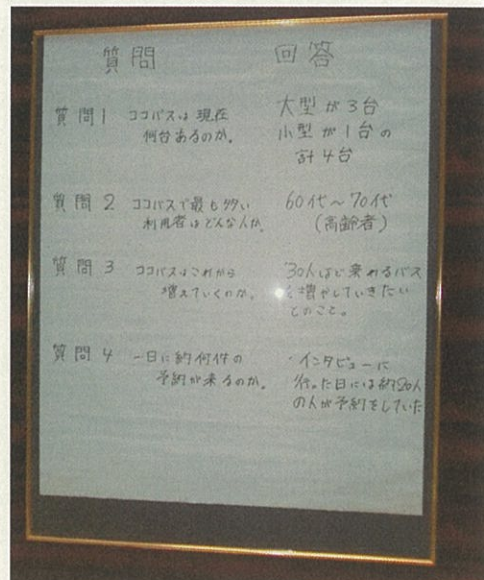
※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

両河内ふるさと学習用展示室（生徒の作品を展示し、自由に参観）



中部横断道と自分の家との関係を調べた生徒

ココバスの利用について調べた生徒



昨年までは、発表した作品は生徒が持ち帰っていたため

当日しか見ることができなかった。せっかくの生徒の作品が四散してしまい、後輩にも還元できないので、今年度補助金を利用した発表会と展示用の教室を用意することができた。今年度以降、作品を展示し、よりよい学習を進めていきたい。